



# 竹松ものがたり

やさしく かしく たくましく

令和6年7月19日  
大村市立竹松小学校  
発行 石司 貴弘

## 第1学期終業式

竹松っ子みんなが、元気に1学期の終業式を迎えることができました。

4月8日の始業式では、子どもたちに「やさしく かしく たくましく」の3つのキーワードを紹介して、**こんな竹松っ子になって欲しい**と、願いを伝えました。



☆**やさしい子**…周りの人に対して思いやりの心をもって、**あたたかい声かけや行いができる人**

☆**かしこい子**…学習に**進んで**取り組み、自分の力(わかる・できる)を**伸ばしていく人**

☆**たくましい子**…**明るく元気**に過ごす人 苦しいことにもねばり強く**挑戦**する人

子どもたちは、それぞれによくがんばりました。一人一人の子どもたちの健気な努力に心からの拍手を贈ります。1学期の学びを通して**子どもたちの素晴らしい姿**が見られましたので、その一部を紹介します。

### 【やさしい子】

- 「おはようございます こんにちは」…あいさつ名人がたくさんになりました。
- 学校生活に慣れず、戸惑う1年生に対して、6年生がやさしく声をかけて励ます姿をたくさん見ました。
- 教室や廊下、運動場、それから登下校の途中でも落ちているゴミを進んで拾う人がいました。
- 高学年の委員会活動が活発になり、みんなの幸せのために動く人が増えました。
- 靴箱、傘立て、雑巾かけ、トイレのスリッパなど、美しく整える人が増えてきました。
- 給食当番、学級の係活動、委員会の仕事を進んでできる人がたくさんいました。

### 【かしこい子】

- 学習を始める前の道具や心の準備をする人が増えてきました。(3つの構え…身構え・モノ構え・心構え)
- 漢字や計算の練習、家での音読練習を毎日続けた人がいました。(続ける粘り強さ)
- 「友達や先生の話聞く」「一人で考える」「意見を伝える」という学びの約束が身に付きました。
- 宿題以外に、自分がやってみたいこと、面白いと思ったことを「自主学習」として挑戦しました。

### 【たくましい子】

- 休み時間には、外で体を動かして元気に遊ぶ人がたくさんいました。
- 家族と協力して、家での生活リズムをよくしようと考えました。(早寝早起き朝ご飯)
- 帽子をかぶったり、タオルで汗をふいたりするなど、自分の体を守る意識が芽生えました。

子どもたちにとって、学校は楽しいことばかりの場所ではありません。

◇**苦手なこと・うまくできないこと・おもしろくないこと**であっても、挑戦・経験する場所です。

◇**意見が合わない他者**と折り合いをつけることを学びます。(何でも自分の思い通りになるわけではありません。がまん・ゆずりあい・話し合いなど、社会を生き抜くスキルを学びます。)

子どもにとって楽しいことだけ、子どもが喜ぶことだけの学校では、きっと「やさしくて かしく たくましい竹松っ子」が育つことはないでしょう。学校職員は、楽しいことは楽しく学べるように、ややハードルの高い学習であっても、**やる気を奮い起こさせる、できた喜びを感じさせる**ようなかわりを行ってきました。

学校教育に対する保護者の皆様のお力添えに感謝を申し上げます。2学期もよろしくお願いいたします。



## ビリー先生 ありがとうございました

竹松小学校でALTとして2年間お勤めいただいたビリー先生が、この7月をもって転勤することになりました。

英語の授業では、子どもが興味を抱くような写真や動画を準備して、楽しい学びを創って下さいました。ビリー先生は「good job!」「great!」「excellent!」などなど、子どもの挑戦に対して、あたたかいほめ言葉をたくさん下さいました。戸惑いながら、勇気を振り絞って英語を使った子どもがみるみる笑顔になって、英語が大好きになりました。

子どもたちのためにお力を尽くして下さったビリー先生の、ますますの活躍をお祈りします。みんなで心を込めて…ありがとうございました。

## 小手川晴子さん

## ありがとうございました

スクール・サポート・スタッフとして長くお勤めいただいた小手川さんが、この7月をもって退任されることになりました。



子どもたちと直接的に関わる機会は少なかったのですが、PTA関係の事務や教職員の授業づくりや学級経営のサポート役として、縁の下で支えて下さいました。職員にも来訪の方にも明るくさわやかな笑顔で対応され、社会人としてのお手本のような方です。PTA役員の方々にとっても、私達教職員にとっても大変力強い存在でした。

小手川さんの今後ますますのご健勝をお祈りするものです。ありがとうございました。

## 有意義な夏休みになりますように

### 1 家族みんなで 生活リズムを整えましょう

夏休みは学校生活で言う「時間割」がありません。一日の過ごし方を家族と一緒に考えて、規則正しく過ごせるように「考えて・実践する」貴重な機会なのです。

夏休みは時間がたくさんありますが、ダラダラと過ごしてしまうと心や体のバランスが崩れてしまいます。「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的なことを守るとともに、日中にどんなことに取り組むか、計画を立てることも大切です。長い休みの一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。



### 2 ふだんできないことに 挑戦しよう

1学期に学習したことの振り返りを行い、できるようになったことをさらに伸ばすことも大切です。また、担任から「課題」としてこれから取り組むことのヒントを伝えられたケースもあるでしょう。それぞれに2学期の学びに向けて自分のペースで取り組んでみましょう。

また、それ以外に自分が「知りたいこと」「好きなこと」「作りたいもの」などについて、調べたり、挑戦したりする時間があります。家族のみなさんと一緒に取り組むと楽しくできますね。

### 3 家の仕事を 家族みんなで 分担しよう

学校でも職場でも、多くの人とともに暮らす「社会」では、みんなが気持ちよく暮らすための大切な仕事がありますね。中には、あまり気の進まない仕事もあるでしょう。しかし、そこにこそ大切な学びがあると思うのです。

きついこと、面倒なことでも「子どもに任せる」または「大人と一緒にする」機会を作っていただきたいと考えます。その時に必ず添えて欲しいのは、取り組んだ事への誉め言葉です。「おかげでたすかったよ」「ありがとう」といった言葉で、子どもは自己肯定感を抱き、さらなるやる気を高めます。